

地域社会との関わり

ホシザキは、地域社会の一員として皆様に信頼される存在となるよう、社会貢献活動を推進しています。また、自然環境保護活動の一環として、公益財団法人ホシザキグリーン財団の活動を応援しています。

工場見学

ホシザキでは、地域の学校の工場見学を受け入れています。製品を作る工程や社員の働く姿から、「モノの大切さ」「働くことの大変さ」「ものづくりの面白さ」を感じていただくことで、学校教育への貢献ができればと考えています。

2020年は、検温や消毒液の設置など十分な新型コロナウイルス感染症対策を実施したうえで、9校の工場見学を受け入れました。



小学校の工場見学受け入れの様子

ホシザキチャリティクラブを通じた寄付活動

国内グループ会社社員の約75%が加入するホシザキチャリティクラブでは、会員の給与と賞与の100円未満を拠出し、社会福祉や自然環境保護、災害復興などの

支援団体に寄付しています。

2020年は、子ども食堂、激甚災害指定の豪雨に見舞われた自治体など、14団体に支援金を寄付しました。

障がい者の自立支援活動の支援

ホシザキは、地域の障がい者の自立支援活動をおこなうNPO法人や民間団体を支援しています。

本社工場では以前より、地元豊明市の障がい者就労継続支援事業所「むぎの花」の手作りパンの出張販売を毎週1回受け入れています。2020年には、同事業所にドウコンディショナー、タテ形冷蔵庫を寄付しました。



ドウコンディショナー

タテ形冷蔵庫

ホシザキグリーン財団の自然環境保護活動の応援

ホシザキグリーン財団は、ふるさとの自然を継承したいという創業者の想いから、1990年に設立されました。この理念を具体化する活動の一つが環境整備事業です。島根県雲南市木次町の財団施設「ふるさと尺の内公園」では、市民が自然に親しむ場所であると同時に、多くの野生動植物のすみかとなるよう、在来植物による植栽などの整備活動をおこなっています。

2020年には、ホシザキの社員も同施設の植栽作業に参加し、同財団の活動を応援しました。



ホシザキ社員による植栽作業

中国における新型コロナウイルス感染症拡大防止に対する寄付

ホシザキは、2020年1月、新型コロナウイルス感染症拡大により不足していたマスクを、いち早く中国のグループ会社へ提供しました。同年2月には、拡大防止に取り組む中国政府を支援するため、当社グループ会社が

所在する蘇州市（蘇州市工業園区慈善總會）と上海市（上海市紅十字会）へ、合計130万元（約2,000万円）の寄付をおこないました。

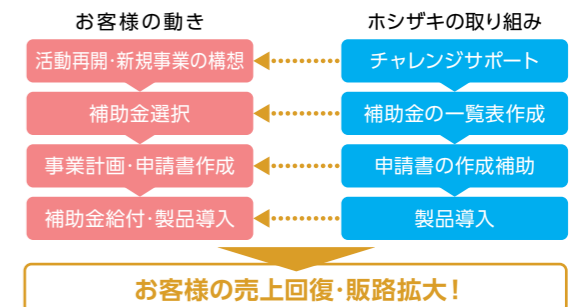
新型コロナウイルス感染症に対する対応

新型コロナウイルスの感染が世界中で拡大し、社会や経済へ大きな影響を及ぼしています。ホシザキグループは、社員、お客様、お取引先様の健康と安全を確保しつつ、これまで以上にお客様に寄り添った活動を展開しています。



テイクアウトやネット販売等、新たな取り組みを進めるお客様を支援

テイクアウト・デリバリー需要が拡大するなどコロナ禍により市場は大きく変化しています。当社及び国内販売会社は、テイクアウトやネット通販など新たな取り組みを始める飲食店のお客様支援に向けて、「ホシザキチャレンジサポート」を開始しました。例えば、テイクアウトメニューの提案やネット通販に関する食品・アレルギー表示などのアドバイスや、補助金制度の情報提供から申請書補助まで一括してサポートすることでお客様の販路拡大、売上の回復に協力しています。



ホームページにて「お客様サポート」サイトを公開

店舗の一時休業など製品の長期停止や運転再開手順、また万が一災害が起きたときの対処法などホシザキ製品を末永く快適にお使いいただくために、役に立つ情報を紹介するサポートサイトを公開しています。また、ホシザキオリジナルの新型コロナウイルス感染症対策店頭用ポスターを公開し、お役立ていただいています。



ホームページ
<https://www.hoshizaki.co.jp/p/support/>



新型コロナウイルス感染予防対策と稼働状況

当社グループでは、社員の安全・健康を最優先に考え、コロナ対策本部を当社内に設置し、感染予防につとめています。

国内拠点

2020年4月から2021年3月まで一時帰休やテレワークを実施、時差出勤の奨励、海外出張の原則禁止、国内出張の自粛、社員食堂における昼食休憩の分散など、さまざまな感染予防策を講じています。

海外拠点

一部の生産拠点では、一時的に生産調整を実施しましたが、2021年現在は通常稼働しています。また、テレワーク可能な業務については、環境を整えて順次実施しています。